

# 先進国資本エマージング株式ファンド(年2回決算型)

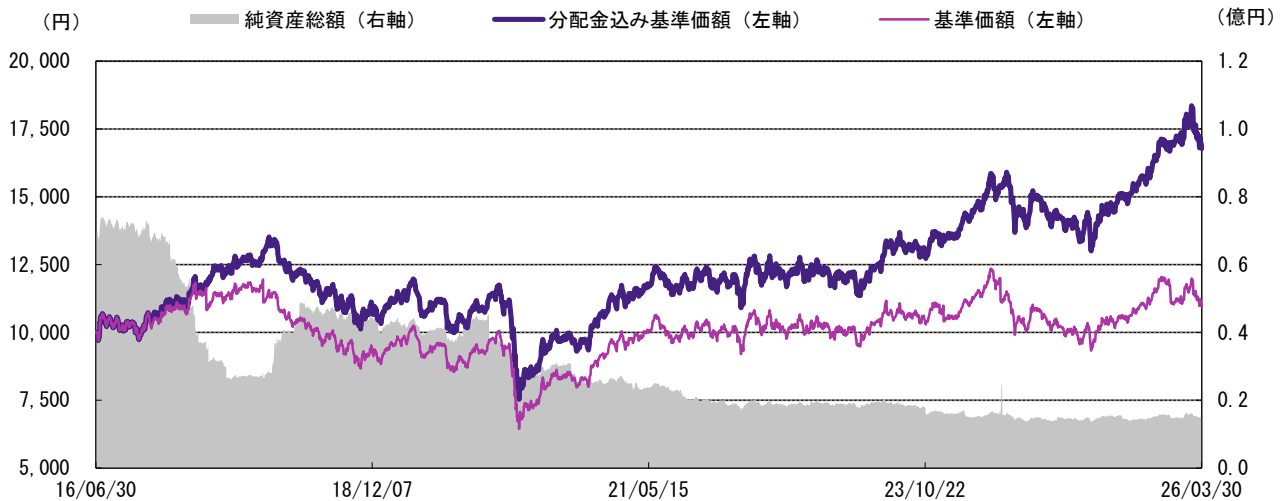
## 愛称:リード・ストック(年2回決算型)

設定日：2016年6月30日 償還日：2026年6月22日 決算日：原則、毎年6月21日、12月21日  
 収益分配：決算日毎 基準価額：10,957円 純資産総額：0.14億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

### 運用実績

#### <基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

#### <資産構成比>

株式	96.1%
うち先物	0.0%
現金その他	3.9%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

#### <分配金実績（税引前）>

23・12・21	24・6・21	24・12・23	25・6・23	25・12・22
400円	850円	100円	200円	850円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

#### <基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-8.44%	-0.65%	7.76%	17.91%	41.03%	67.82%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

#### <基準価額騰落額の要因分解>

前月末基準価額	11,967円
要 株式	-914円
為替	-74円
因 分配金・その他	-23円
当月末基準価額	10,957円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ポートフォリオの内容 ※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

<通貨別組入上位10通貨>

通貨	比率
インドルピー	34.4%
アメリカドル	14.4%
ポーランドズロチ	9.0%
中国元	6.8%
メキシコペソ	6.1%
マレーシアリンギット	4.9%
ブラジルレアル	4.2%
香港ドル	3.3%
ユーロ	3.3%
タイバーツ	3.0%

<国・地域別組入上位10カ国>

国・地域名	比率
インド	34.4%
ブラジル	13.5%
ポーランド	9.0%
中国	8.4%
メキシコ	6.1%
チリ	5.6%
マレーシア	4.9%
ギリシャ	3.3%
タイ	3.0%
南アフリカ	2.3%

<業種別組入上位10業種>

業種	比率
銀行	22.1%
電気通信サービス	18.2%
資本財	15.3%
食品・飲料・タバコ	10.6%
公益事業	5.6%
家庭用品・パーソナル用品	5.5%
自動車・自動車部品	4.0%
ソフトウェア・サービス	3.9%
素材	3.8%
生活必需品流通・小売り	3.0%

<組入上位10銘柄> (銘柄数：60銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	ABB INDIA LTD ABBインディア	インドルピー	インド	資本財	3.4%
2	TELEFONICA BRASIL-ADR テレフォニカ・ブラジル	アメリカドル	ブラジル	電気通信サービス	3.4%
3	ENGIE BRASIL ENERGIA SA エンジー・ブラジル・エネルジア	ブラジルレアル	ブラジル	公益事業	3.1%
4	TIM SA-ADR ティム	アメリカドル	ブラジル	電気通信サービス	3.1%
5	WALMART DE MEXICO -SER V ウォルマート・デ・メキシコ	メキシコペソ	メキシコ	生活必需品流通・小売り	3.0%
6	HENAN SHUANGHUI INVESTMENT-A フーナン・シュアンフイ・インベストメント・アンド・デベロップメント	中国元	中国	食品・飲料・タバコ	3.0%
7	SIEMENS LTD シーメンス	インドルピー	インド	資本財	3.0%
8	MBANK SA Mバンク	ポーランドズロチ	ポーランド	銀行	2.9%
9	NESTLE INDIA LTD ネスレ・インディア	インドルピー	インド	食品・飲料・タバコ	2.9%
10	HINDUSTAN UNILEVER LTD ヒンドゥスタン・ユニリーバ	インドルピー	インド	家庭用品・パーソナル用品	2.8%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎運用概況

当月、基準価額は下落しました。株式市場、為替市場ともにマイナスに寄与しました。国別では、サウジアラビアなどがプラスに寄与した一方、インド、ポーランド、ブラジルなどがマイナスに寄与しました。

当月の主要株式市場は前月末比で下落しました。

当月は米国およびイスラエルとイランとの軍事衝突を巡り、停戦の見通しが不透明な状況が続く中、不透明感が想定以上に長期化する可能性が意識されました。これを受けて原油価格が急騰し、エネルギー価格の上昇を通じたインフレ再燃への警戒感が強まりました。その結果、世界経済の成長が鈍化する一方で、物価上昇圧力が持続するリスクが市場で改めて意識される展開となりました。

新興国株式市場も例外ではなく、インドや中国の株価指数も下落しました。中東での地政学的な混乱を受け、エネルギー供給や物流の混乱を通じて天然ガス価格や肥料価格が上昇しており、インドでは肥料コストの上昇や供給制約が今後の作付け・収穫期に影響を及ぼす可能性が指摘されており、農業生産の下振れを通じてインフレ圧力が一段と高まるリスクが意識されています。

中国では、中国人民銀行（中央銀行）が第1四半期の金融政策委員会の会合を開催し、適度に緩和的な金融スタンスを維持する方針を示しました。

新興国通貨は対円でまちまちの動きとなりました。米国とイスラエルによるイランへの攻撃に起因する投資家のリスク回避姿勢の強まりなどが、新興国通貨安・円高の要因となる一方で、中東産エネルギー輸送の要衝であるホルムズ海峡をイランが事実上封鎖したことによる原油価格の上昇を受けて産油国通貨が買われたことや、原油輸入国の通貨である円が売られたことは、新興国通貨高・円安の要因となりました。

## ◎今後の見通し

今後3～12カ月の新興国株式市場の見通しについては、複雑なグローバル環境を背景に、慎重ながらも一定の投資機会が見込まれる状況にあると考えられます。米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策スタンスを「一時停止」から再び引き締め方向に転換する可能性が意識されており、その場合には米ドル高が進行し、新興国からの資本流出圧力が高まる局面も想定されます。

一方で、新興国株式のバリュエーション（株価評価）は、先進国市場と比較して引き続き相対的に割安な水準にあるとみられます。地政学的リスクの緩和に向けた見通しがより明確となり、世界的なリスク選好が改善する局面では、評価の見直しが進む余地も残されていると考えられます。

中国については、的を絞った財政・金融政策による下支えを背景に、緩やかな景気回復が続く見通しです。こうした動きは、アジア地域のサプライチェーンや資源輸出国にとって、一定の追い風となる可能性があります。

インドでは、堅調な内需、デジタル化の進展、インフラ投資を背景とした中長期的な成長ストーリーが引き続き評価される一方、政治動向やインフレ動向については注意深く見極める必要があります。特に、肥料不足に伴う農作物収穫量の減少などが、インフレ率を想定以上に押し上げるリスクには留意が必要と考えられます。

ブラジル、インドネシア、南アフリカといった資源輸出国は、原油や金属価格が高水準で推移する局面では相対的に恩恵を受ける可能性がある一方、原油輸入国については、中東地域の地政学的緊張が長期化した場合、マクロ環境の悪化が懸念されます。新興国市場においては、通貨の安定性やインフレ抑制姿勢が国・地域間の重要な差別化要因となっており、複数の国ではインフレ期待を抑制するため、中央銀行が引き締め姿勢を当面維持する可能性があるとみています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。  
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ＜組入上位10銘柄の銘柄概要＞

<b>1 ABB INDIA LTD / ABBインディア</b>
インドの電力技術・エンジニアリング会社。エネルギー生産、送電、交通、プロセス・オートメーション、公害コントロールの分野における建設、エンジニアリング、および重機・工業機器製造を受託する。スイスの電力・自動化テクノロジー会社、ABBのグループ会社。
<b>2 TELEFONICA BRASIL-ADR / テレフォニカ・ブラジル</b>
ブラジルの通信会社。固定・携帯電話、データ送信、VAS、有料テレビなどのサービスを提供する。各国で事業を展開する通信コングロマリット企業、テレフォニカグループの一部。
<b>3 ENGIE BRASIL ENERGIA SA / エンジー・ブラジル・エネルギー</b>
ブラジルの電力会社。電気および天然ガスの探査、生産、輸送、配送、および販売に従事する。フランスのエネルギー会社のエンジーの子会社。
<b>4 TIM SA-ADR / ティム</b>
ブラジルの携帯電話サービス会社。各種メッセージ・サービス、ビデオ通話、ウェブ検索、ビジネスデータ・ソリューション、ラジオ局、ゲーム、ボイスメールなどの事業も手掛ける。イタリアの通信事業会社テレコム・イタリアが出資。
<b>5 WALMART DE MEXICO -SER V / ウォルマート・デ・メキシコ</b>
メキシコの大手小売会社。食品、衣料、その他商品を多様な店舗形式で販売する。アメリカの小売スーパー・チェーン、ウォルマート・ストアーズの子会社。
<b>6 HENAN SHUANGHUI INVESTMENT-A / フーナン・シュアンフイ・インベストメント・アンド・デベロップメント</b>
中国の投資持株会社。子会社を通じ、肉製品および冷凍食品の製造をはじめ、加工、印刷サービスの提供、貿易事業も手掛ける。香港の持株会社WHグループの子会社。
<b>7 SIEMENS LTD / シーメンス</b>
インドで照明、ヘルスケア機器、通信機器など製造する多角経営企業。高速鉄道を製造する輸送部門、小型電球を製造する照明機器部門、医療用電気機器を製造するヘルスケア部門、航空機を設計製造する産業部門、携帯電話用の公共通信ネットワークを提供する通信部門など、多角的な事業を手掛ける。ドイツのシーメンスの子会社。
<b>8 MBANK SA / Mバンク</b>
ポーランドの銀行。ポーランド国内で預金、商業銀行業務のほか、個人向け、法人向けおよび富裕層向けバンキング・サービスも手掛ける。証券仲介子会社を通じて資本市場業務、リース子会社を通じてリース金融サービスも手掛ける。ドイツのコメルツ銀行が出資。
<b>9 NESTLE INDIA LTD / ネスレ・インディア</b>
インドの食品メーカー。ネスレブランドの乳製品、その他食品を製造。主な製品は、コーヒー用クリーム、粉ミルク、ギー（乳脂肪製品）、コンデンスミルク、離乳食など。Nescafeなどの飲料も手掛ける。Maggiブランドで麺類、スープ、ソースの製造にも注力。スイスのネスレの子会社。
<b>10 HINDUSTAN UNILEVER LTD / ヒンドウスタン・ユニリーバ</b>
インドの生活用品・食品メーカー。石鹸、洗剤、パーソナルケア用品および加工食品を製造、販売。アイスクリーム、食用油、肥料、ハイブリッド・シードの製造も手掛ける。イギリスのユニリーバの子会社。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ファンドの特色

**先進国資本エマージング株式(先進国企業が出資する新興国企業の株式)に投資を行ないます。**

- 新興国企業の中でも、先進国資本を取り入れることで新興国の成長の恩恵をより多く享受することが期待される「先進国資本エマージング株式\*」への投資を行なうことにより、高い値上がり益の獲得をめざします。
- 原則として、為替ヘッジは行ないません。  
\*預託証券を含みます。

**グローバルに展開するアモーヴァ・アセットマネジメント・グループの総合力を結集します。**

- アモーヴァ・アセットマネジメント・グループの各拠点からの情報などを活用し、アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッドの投資助言をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社が最終的な投資判断を行ないます。

**年2回、決算を行ないます。  
基準価額水準が1万円(1万口当たり)超の場合には、分配対象額の範囲内でかつ当該超過分の50%を上限に、積極的に分配を行ないます。**

- 毎年6月21日、12月21日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。  
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

**■お申込みメモ**

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2026年6月22日まで（2016年6月30日設定）
決算日	毎年6月21日、12月21日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内でかつ当該超過分の50%相当額を上限として積極的に分配を行いません。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

**■手数料等の概要**

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>	
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.936%（税抜1.76%）</u>
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、 監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬（有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55（税抜0.5）を乗じて得た額）などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

**■委託会社、その他関係法人**

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 <a href="http://www.amova-am.com">www.amova-am.com</a> 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様は、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

## 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## 為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

## 有価証券の貸付などにおけるリスク

- ・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「先進国資本エマージング株式ファンド（年2回決算型）＜愛称：リード・ストック（年2回決算型）＞」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第5号	○	○		
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第128号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。